

いつも、あなたがたとともにいます

御言葉：マタイ 28 章

要 節：マタイ 28：20

また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。

復活祭の御言葉を通して、私たちに復活の信仰を改めて教えてくださる神様に感謝致します。

私たちは創造主である神様を信じ、その神様の一人子であるイエスキリストと聖霊の働きを信じる信仰生活をしています。イエスキリストを信仰する理由は、いろいろあると思いますが、共通していえることは、おそらく自分たちが住んでいて、生きているこの世の中にイエスキリストにしか真の望みやいのちがないと思うからではないでしょうか。その真の望みやいのちが得られる道はただ一つ、イエスキリストの十字架と復活を信じることです。

今日はその中の一つである復活を改めて記念する復活祭です。復活は、イエスキリストが私たちに下さったこの世の価値では図れないとても大切な、しかもただでくださる一番のプレゼントです。改めて自分自身と皆様にストレートに質問をすると、なぜ私たちに復活が必要でしょうか。復活を信仰するとはどういうことでしょうか。今日の御言葉を通して、じっくり考え、復活主イエスキリストをよりいっそう知ることができるように祈ります。

復活の内容は、当たり前ですが、イエスキリストの十字架の死から始まります。イエスキリストは私たちの罪と咎のために、人々に裏切られ、あざけられ、ののしられ、鞭打たれ、十字架を背負い、ゴルゴダという険しい坂を十字架を背負い上りました。骨が崩れ落ちる痛みとちぎられた皮膚から噴出す苦しみと心と精神を押しつぶす悲しみ、耐え切れぬ魂の破裂をもって、一足一足、十字架の坂を上られました。上りきった坂の上で待っていたのは、十字架に釘でつけられ、すべての血と水を吐き出され死ぬことだけでした。イエスは大声で、「わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか。」と叫ばれた後、死なれました。私たち、人間が受けるべき処刑を罪のない神の子キリストが受けて、死なれました。

そのむごい姿をみたイエス様の弟子たちは死の恐れに飲み込まれ、みんな逃げ隠れました。イエスをキリストですと人類最初に偉大な信仰の告白をしていた一番弟子ペテロさえ、主を3回も知らないと否認し、恐れ震えながら、逃げ離れました。残ったのは、真心をささげた女性何人ほどです。その女性たちがイエス様のお墓に向かっていました。そこで、突然、主の御力が現れました。大きな地震が起こったのです。その大地震は、主の使いが天から降りて来て、石をわきへころがして、その上にすわったことで起きました。その御使いの顔は、いなずまのように輝き、その衣は雪のように白かったのです。すると、御使いは女たちに言いました。

5節から7節をご覧ください。「恐れてはいけません。あなたがたが十字架につけられたイエスを捜しているのを、私は知っています。ここにはおられません。前から言っておられたように、よみがえられたからです。来て、納めてあった場所を見てごらんください。ですから急いで行って、お弟子たちにこのことを知らせなさい。

イエスが死人の中からよみがえられたこと、そして、あなたがたより先にガリラヤに行かれ、あなたがたは、そこで、お会いできるということです。では、これだけはお伝えしました。」

彼女たちもイエス様の十字架の死の前で、悲しみと絶望感に呑まれていました。人は生まれた喜びは一瞬で、死を意識始めるのと同時に、人間の限界、自分への絶望感を覚えてしまいます。人は神様を知らない、死の勢力にさいなまれます。そして、神を信じると言っている人も主に将来やすべてを委ねないと、不安と運命的な考えと悲しみで苦しみます。十字架によって罪はあがなわれましたが、その人生そのものには、悲しみと不平不満が募ります。

このように死は生きようとする人間に、不安とむなしさを与えます。死は希望を求める人間に恐れと絶望と悲しみを与え、人間を支配します。すさまじい勢いで人間をつかまり、何も見えないように何もできないように、座り込ませ、押しつぶし、真っ暗の道に追い込ませます。死は、人間の人生を生まれてから死にむかって歩かせているのです。それを私は 30 代にはあまり感じられませんでした。生きてきた年月より、残った年月が少なくなったと思うこの頃、よく考えるようになりました。

「恐れてはいけません。あなたがたが十字架につけられたイエスを捜しているのを、私は知っています。ここにはおられません。前から言っておられたように、よみがえられたからです。来て、納めてあった場所を見てください。」2000 年前に、人類の一番偉大な奇跡・人類の歴史上一番衝撃的な出来事がある小さな町の小さな石のお墓から起こりました。イエス様が死者の中からよみがえられたのです。死に勝ち誇り、よみがえられました。イエスキリストが死の勢力、絶望、悲しみ、むなしさ、恐れ、不安を打ち破り、よみがえられましたことが宣布されました。

このイエスキリストのよみがえりがあるからこそ、今私たちが信仰する人生を選んでいるのです。もし、このイエス様のよみがえりがないなら、それを日々信じていないなら、この世で私たちが一番哀れな存在です。もし、イエスキリストの復活がないなら、この世は希望もない、宇宙で一番悲しくて絶望的な塊（かたまり）にしかならないのです。

しかし、イエスキリストは死者の中から三日目に確かによみがえられました。絶望と悲しみ、苦しみとむなしさから私たちは救われ、この世において、私たちの中で、喜びと希望と感謝が溢れるようになりました。よみがえられたイエス様は私たちを完全な形で救われ、死の勢力を打ち破り、真の自由と永遠のいのちを与えてくださったのです。私たちがイエスキリストを信仰する理由がここに 있습니다。人間の最大の敵である死をイエスキリストのよみがえりによって滅ぼされ、私たちは永遠の御神の御国に入り、永遠の幸せを約束されたのです。よみがえられた私たちの真の主イエスキリストを賛美致します。

この復活の福音を聞いた女性たちは変わりました。福音の知らせがあまりにも衝撃的だったので、恐ろしさはありましたが、復活の福音を聞いて、大喜びで、急いで墓を離れ、弟子たちに知らせに走って行きました。すると、イエスが彼女たちに出会って、「おはよう。」と言われました。彼女たちは近寄って御足を抱いてイエスを拝みました。10 節をご覧ください。イエス様は彼女たちにこういわれました。「恐れてはいけません。行って、わたしの兄弟たちに、ガリラヤに行くように言いなさい。そこでわたしに会えるのです。」死の勢力を

打ち勝ったイエス様は彼女たちの恐れや悲しみ、涙をぬぐい洗ってくださり、新しいいのちを与えてくださいました。新しい喜び、消えない希望と安心を与えてくださいました。

彼女たちは十一人の弟子たちにイエス様の復活を伝えました。その十一人の弟子たちは、イエス様の指示された山に登りました。そして、イエス様にお会いしたとき、彼らは礼拝しました。しかし、疑う者もいました。イエス様の復活の福音を見ることはできません。しかし、弟子たちのように聞いて信じることはできます。イエス様の御言葉、イエス様の復活を聞いて信じること、これこそ、信仰です。

よみがえられたイエス様を信仰する弟子たちにこういわれました。18節から20節をご覧ください。一緒に読んでみましょう。「28:18 イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。28:19 それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、28:20 また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

私はこの御言葉を聞いて、弟子養成は復活を信じているすべての信仰の人が行うべきことであると思うようになりました。特別使命を受けているからとか、なんか弟子養成の才能がありそうだからとか、自分が通っている教会が弟子養成に力を入れているからとか、宣教師だから弟子養成を行うべきではないことに気づきました。イエス・キリストが自分のために十字架につけられたこと、そしてその十字架に死なれたイエス様は死者の中から三日目によみがえられ、信じる者に永遠の救いを与えてくださったことを信じるすべてのものは弟子養成を行い、その福音を広める義務があるのです。

イエス様が私たちの罪と咎を十字架であがない、よみがえられたことで、私たちに永遠のいのちを与えてくださったことを信じているから、私たちは弟子養成ができます。何事でもできます。どんなに日本のキャンパスが靈的に厳しいといわれていても、復活信仰があれば、弟子養成ができます。

なぜなら、イエス様は私たちの永遠の敵である死に打ち勝ち、死の勢力を打ち破って、よみがえられました！！。このよみがえりのイエス様は私たちに永遠のいのちを与えてくださいます。ヨハネ福音書11:25、26でイエス様はこういわれました。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。11:26 また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。このことを信じますか。」

私たちは今どんなに弱い姿でいたとしても、今どんなに小さなものとして扱われているとしても、私たちは決して小さい人でも、弱い人でもありません。私たちは強くなることができます。私たちは大きなことをこの世で行うことができます。今どんなに将来がみえなくても、今どんなに希望が消えつぶされていたとしても、どんなに絶望的な状況や環境にいたとしても、私たちは必ず救われ、必ずよみがえられ、私たちは必ず圧倒的な勝利を収めることができます。その理由は、私たちが信仰しているイエス様が死者の中からよみがえられた

からです。私たちの罪と咎をあがない、私たちに永遠のいのちを与えてくださるためにイエス様が死者の中からよみがえられたからです。

問題は私たちが日々の生活の中で、死者の中からよみがえられたイエス・キリストを信じているかどうかです。私たちがイエス様の復活を信じ、どんな状況でも、どんな環境であっても、福音を広める弟子養成の御わざに挑戦することができますように祈ります。なぜ、私たちに復活が必要かという、このためです。

私たちが日常生活の中で、どんな場所においても、どんなことが起きていても、死者の中からよみがえられたイエス様を信じる信仰で自分の人生を貫くことができますように祈ります。

私たちの人生の絶望を永遠の希望に、空しさと悲しみを天の御国の喜びに、つらさと痛みを感謝と賛美に変えてくださるよみがえりのイエス・キリストを信じる信仰をもつことができるように切に祈ります。

このよみがえりのイエス・キリストを日本と世界のキャンパスの羊たちに、慶応の羊たちに宣べ伝える復活の証人として生きることができますように祈ります。